

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英会話 3	
科目基礎情報							
科目番号		104711		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		環境材料工学科		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		Passport to Work [Oxford University Press]					
担当教員		平田 隆一郎					
到達目標							
1. 英語コミュニケーションに必要な語彙や表現を身につけ、それを使用できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1		テキストで学んだ語彙や表現を活用して、仲間と英語でコミュニケーションを取ることができる。		仲間と英語でコミュニケーションを取る姿勢が感じられる。		仲間と英語でコミュニケーションを取る姿勢が感じられない。	
学科の到達目標項目との関係							
コミュニケーション能力 (E)							
教育方法等							
概要		仕事上でのさまざまな状況や場面を想定したテキストを用い、主にリスニングとスピーキング能力の向上を目指す。					
授業の進め方・方法		繰り返し音読することで英語を「理解する」レベルから「使える」レベルに引き上げることが本授業のねらいです。授業内外での音読トレーニングや課題に積極的に取り組んで、使える英語力を身につけていきましょう。					
注意点		英語によるコミュニケーション能力を磨くためには練習しかありません。一緒に練習しましょう。そして英語にとどまらず、社会で通用するコミュニケーション能力を身につけましょう。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。 本科目は履修要覧(p.9)に記載する「④選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction		1		
		2週	1. I'm in the computer business		1		
		3週	2. No, he's the boss!		1		
		4週	3. This is where we have lunch		1		
		5週	4. Can I use your phone?		1		
		6週	5. How about some coffee?		1		
		7週	Review 1		1		
		8週	Speaking activities		1		
	2ndQ	9週	6. Can you meet me at the airport?		1		
		10週	7. I'll take care of it		1		
		11週	8. What are the sales figures?		1		
		12週	9. Do you have an e-mail address?		1		
		13週	10. I'd like to work overseas		1		
		14週	Review 2		1		
		15週	Speaking activities		1		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力向上のための学習	英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	

				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合			
	試験	課題	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100